

## 日本史探究 第8回 授業の進め方とポイント

### 【第8回テーマとEQ】

戦国時代はどのようにしてはじまったのか考えよう！

～応仁の乱から下剋上の時代へ～

### 【第8回の解説ポイント】

・第三代将軍足利義満の死後、幕府と将軍の力は衰え、有力守護大名同士の争いが激しくなっていた。

→幕府・将軍権力の強化をめざした第六代将軍足利義教は、有力守護の赤松氏に暗殺された（嘉吉の変）。

・第八代将軍足利義政の後継者問題から、全国の守護大名を二分する争乱（応仁の乱）となり、戦いは京都を中心に11年間も続いた。

→幕府と将軍は全国を支配する力を失い、戦いに疲れた守護大名も支配力を低下させた。

・そのような中で、下の位のものが上の位のものに実力で打ち勝って権力を手に入れる下剋上の風潮が高まり、守護大名に代わって戦国大名が各地を支配するようになった。

・戦国大名の領国経営として、地侍を家臣に組み入れて強力な軍事組織をつくり、城下町を形成して産業の発展をめざした。さらに、自分が支配する領国内に適用される分国法を作り、支配を安定化させた。

第三代将軍足利義満の死後、後を継いだ第四代将軍足利義持は父親のおこなった政策をことごとく否定したため、幕府・将軍の影響力が低下することになった。さらに第六代将軍足利義教は幕府・将軍権力の強化をめざしたが、嘉吉の変で暗殺され、幕府・将軍の支配力はさらに低下することになった。

第八代将軍足利義政の後継者争いから起きた応仁の乱は、京都を中心に11年間続いたため、幕府・将軍や朝廷、守護大名の力を低下させることになった。その中で下剋上の風潮から権力を握った各地の戦国大名が力を伸ばし、全国的な群雄割拠の時代である戦国時代がはじまることになった。

### 【これまでに出された留学生からの質問】

・将軍がくじ引きで決められたと聞いたのですが、本当ですか。

→第四代将軍足利義持は死亡時に後継者を決定せず宿老会議で決定するように遺言したため、石清水八幡宮でのくじ引きがおこなわれ、第六代将軍足利義教が決定された。